

令和7年度 第1回 「どうなる?どうする?語ろう!住まいの終活」

座談会が開催されました!

【日 時】 令和7年10月4日(土) 19:00~21:00

【場 所】 明治会館

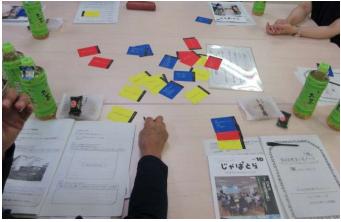
【参加者】 明治校区まちづくり協議会のみなさん 14名

【講 師】 一般社団法人 全国古民家再生協会 井上静夫 氏 一般社団法人 住教育推進機構 山城京子 氏

【内 容】・二班に分かれカードゲームをしながら「住みたい家は?」「隣が空家になったら?」等いろんなテーマで、楽しく話し合いました。

・ありあけ不動産ネット協同組合からの「空き家・空き地相談窓口」の案内や、市からは家の"終活"を考えるための「家ンディングノート」の紹介をしました。





【カードゲームのルール】

- ・配られた赤、青、黄のカードの中から質問を選択します。 (答えたくないカードは選ばなくてよい)
- ・その質問に対し、自分の考えを言います。 (選択肢がある場合はその中から選ぶ)
- ・話を広げましょう。 (アドバイスなども聞く)
- ・否定はしません。 (他人の意見を聞く)



<u> 質問 ① 築60年の一戸建て住宅を相続することに。どうする?</u>

(意見) 悩んでいる。なかなか売れない。 解体したら、固定資産税が上がる。 国に寄付するにも更地にする費用や管理料が必要。



質問② これから家の価値が下がっていく。どうする?

(意見) 数年前、家を建てた時は、坪20~30万円だったが、今は2~3万円。 老朽危険家屋が隣にあると価値が下がってしまう。売れなくなる。 母親から実家のことを相談された。難しい問題でまだ決められない。 解体せずにほったらかしにすると管理不全状態になる。

質問③ 家は資産か?

(意見) 東京だとすごく高いが、大牟田では比較的手ごろな値段で手に入る。上手に PRすれば移住定住につながるのでは!? 高齢者が家をどうこうするのは難しい。 元気なうちに家をどうするか話をしておくのが大事。前向きな話ができる。 「家ンディングノート」などを活用して、前もって家族で話し合うといい。





<空き家空き地相談窓口>

- ・道が狭くて売れないという相談が多い。
- ・令和6年4月に始まった相続登記の義務化に伴い、なるべく早く名義変更した方がよい。

<住まいるノート>

- ・親族間の関係性によっては処分できなかったり、処分を先送りにして家の状態が悪くなるなど、 条件がさらに困難になるケースが多い。
- ・家族で家の思い出や活用や処分について話すのに、ぜひ「住まいるノート」の有効活用を!